

## 第2回高知県立病院経営健全化推進委員会 要旨

- 1 日時  
平成22年7月15日（木）15時から17時まで
- 2 場所  
高知共済会館 3階 藤
- 3 出席者  
委員 : 武田委員長、杉浦委員、中澤委員、山本委員  
県立病院課 : 長瀬局長、安岡次長、彼末課長、原企画監、丑本課長補佐、井上チーフ、濱田チーフ、吉川主幹、井添主幹  
安芸病院 : 森田院長、浅野事務部長、山本チーフ  
芸陽病院 : 山下院長、梅下事務部長  
幡多けんみん病院 : 橋院長、倉橋事務部長
- 4 議事要旨
  - (1) 平成21年度決算報告について
    - ・資料1「平成21年度決算の概要」について説明（県立病院課）
    - ・医師の減少を回復しなければ、手の打ちようがない状況である。（安芸病院）
    - ・病床利用率85%を目指す。（芸陽病院）
    - ・収益増加のため、外来の臨床検査を増やす。（芸陽病院）
    - ・医師数が徐々に減っており、相対的に収入も減っている。（幡多けんみん病院）
    - ・薬品費の増加は、化学療法における高額薬品の使用増が影響している。（幡多けんみん病院）
    - ・医療機器の更新時期が来ており、固定資産除却費が負担となっている。（幡多けんみん病院）
    - ・DPC導入と診療報酬改定の影響が良い方向に向くことを期待する。（幡多けんみん病院）
  - (2) 高知県立病院改革プランの進捗状況について
    - ・医師確保の見込みも踏まえて改革プランを作成したが、医師の確保状況も含めてすでに計画と実績がかい離している。新安芸病院の開院も見据えて改革プランの見直しを行いたい。（県立病院課）
    - 計画の見直しを認める。見直し作業は、山本委員と相談しながら進めてもらいたい。（委員）
  - (3) 安芸病院アクションプランの進捗状況について
    - ・取り組みを進めた結果としてどのような効果や障害があるのか、説明してもらいたい。（委員）
    - - ・医師の確保については、病院GP養成プログラム検討会で進めている。
      - ・認定看護師、専門看護師の育成については、効果が出始めている。
      - ・訪問看護の実施件数は、患者の経済的問題などもあり、あまり伸びそうにない。（安芸病院）
  - (4) 医師等職員のモチベーション向上策の導入について
    - ・若い医師は給与の額よりも、専門性を高める環境を重視しているのではないかと。研修体制を充実させる方が、効果があるのではないかと。（委員）
    - ・医療機器の導入や海外研修の機会を与えるなど、医師としてのステップアップに反映させて、モチベーションの向上を図ってはどうか。（委員）
    - 医師にとっての病院の魅力は、病院の規模と、どういうものを提供できる

かによって違ってくる。当院の医師には、後輩医師の手本となるようお願いしている。(安芸病院)

(5) その他

- ・ 今日の話をもとに、今後の方向について後日、説明をもらいたい。(委員)
- 決まり次第、報告します。(県立病院課)